

諸外国語について

大学では、学部によっては英語以外の外国語の履修を義務付けていることがあります。この「諸外国語」には、大学入学前には触れることもなかった言語も多数含まれているでしょう。

ここでは、これら「諸外国語」について、初めて学習する方を対象にその特徴を解説します。「諸外国語」の選択に役立ててください。

なお、学部によって履修できる言語が異なります。「外国語科目の選び方について」で自分の学部の履修の方法を確認してください。

目 次

- ・ドイツ語「なぜドイツ語？」
- ・フランス語「フランス語について」
- ・ロシア語「ロシア語という選択」
- ・中国語「中国語について」
- ・スペイン語「スペイン語について」
- ・朝鮮語「朝鮮語について」

※経済学部では「コリア語」として履修します。

なぜドイツ語？

ドイツ語圏でのコミュニケーション

ドイツ語が話せると、世界中で1億100万人もの人々とコミュニケーションすることができます。その中の1億人のヨーロッパ人たち（つまりドイツ語圏の国々、ドイツだけでなくオーストリア、スイス、ルクセンブルク、リヒテンシュタインの人々）が、母語としてドイツ語を話しています。

「メイド・イン・ジャーマニー」

ハムやソーセージやビールだけではなくありません。ドイツ製品は品質が高く、信頼性が高いとされ、世界中で買い求められる一種の「ブランド」になっています。BMW やメルセデス・ベンツ、フォルクスワーゲン、アウディといった日本にも進出している人気の自動車メーカーを筆頭に、ドイツの経済競争力は、BASF やジーメンス、SAP、製薬会社のバイヤーその他、世界規模で展開している多くの企業にも表れています。



過去の歴史と現代と

ドイツの歴史は、神聖ローマ帝国による緩やかな統合のもと、地域ごとの個性が際立っていた中・近世、ビスマルクに代表される個性的な政治家が活躍し、ドイツ統一を成し遂げた19世紀、2つの世界大戦とナチスによる独裁、東西ドイツの分断から再統一へと、波瀾万丈です。いずれの時代も、現代のドイツ社会を深く特徴付けています。それだけでなく、過去の遺産をよく保存し活用しているのがドイツの特徴で、現在でも中世風の城や街並など、過去の時代の建築や記念碑をあちこちで見ることができます。

とくにナチスによる蛮行は、現代にいたるまでドイツの歴史に暗い影を落としています。その反省は、ヨーロッパ統合への積極参加や難民の受け入れという形で21世紀のドイツの政策に反映されているのです。

また、ドイツは今世紀に入る頃から産業の構造転換に積極的に取り組んでいます。再生可能エネルギーの推進や脱原発、街中でも自転車の積極利用をはかるなどはその成果です。そうした点でも日本が学ぶところの多い国です。

ドイツ語の文化を知ることができる

ドイツの文化というと、カント、ヘーゲル、ニーチェなどのドイツ哲学が浮かびますが、ドイツ語圏には、様々な領域で私たちの現代に直結する文化が生まれています。ドイツ語圏の作家たち、ゲーテやトーマス・マンは今も世界で愛読され、漫画家の手塚治虫や宮崎駿の作品の重要なインスピレーションの源となっています。スタジオジブリを興した高畑勲らのテレビアニメ『アルプスの少女ハイジ』の原作は、ハイジの故郷スイスの作家シュピリの小説です。また、カフカの『変身』やケストナーの『飛ぶ教室』などの20世紀小説は、現代日本の学生たちにとっても、さまざまに想像力を刺戟されます。

音楽の世界では、バッハ、ベートーヴェン、マーラー等々、音楽の授業でお馴染みの作曲家の名前が並び、モーツァルトを初め「音楽の都」と呼ばれるオーストリアの首都ウィーンで活躍した音楽家たちを中心にドイツ・クラシック音楽の作品なしには、世界中の演奏会やオペラのプログラムが成り立ちません。近年では『エリザベート』『モーツァルト！』等、ウィーンを舞台にしたドイツ語版ミュージカルも評判を得て、日本でもしばしば上演されています。

近年のドイツ映画にも、『善き人のためのソナタ』（2006年）や『帰ってきたヒトラー』（2015年）など興味深い作品が多く、トルコ系ドイツ人のファティ・アキン監督『女は二度決断する』（2017年）は、現代ヨーロッパの移民問題とも深く関わる作品で、活きたドイツ語を身近に感じながら現代社会の文化や課題を知るのに最適です。



ドイツ語を学ぶ

歴史と現代、伝統と今、光と闇の交錯する多様で複雑なドイツ語圏の文化は、ドイツ語を学ぶことで、より身近に知ることができます。法政大学の派遣留学制度では、ドイツ語圏としてドイツ、オーストリア、スイスの大学で学ぶことができます。ピア・ラーニング・スペースには、多くのドイツ語圏の映画や音楽やオペラの教材があり、自由に利用することができます。

フランス語について

《法政大学の歴史とフランス語》

法政大学にはボアソナード・タワー（略称 BT）という高層の建物があります。この名前は本学の草創期に大きな役割を果たしたボアソナード博士に由来しています。パリ大学の教授だったボアソナード博士は、「御雇い外国人」として明治時代の日本の近代法の整備に貢献するとともに、教育者として優れた弟子を育てました。本学の創設者である薩埵（さつた）正邦もその一人です。薩埵正邦は、博士の弟子とともに 1880 年に東京法学社を設立します。これが今日の法政大学の源流です。1886 年、東京法学社は法学にとどまらないフランス研究を専門としていた東京仏学校と合併し、和仏法律学校となります。「自由と進歩」を建学の理念として掲げる法政大学の歴史には、このようにフランスの精神が強く脈打っています。

《文明の十字路・フランス語の影響力》

フランス本土は西ヨーロッパのちょうど中央に位置しています。ドーヴァー海峡の対岸にはイギリスが、ライン河の向こう岸にはドイツが、アルプスの山々の彼方にはイタリアが、ピレネー山脈の反対側にはスペインが位置しています。この地理的環境は、フランスが今日にいたるまで文明の十字路として存在し、周囲の国々から多くの文物や人の流れを受け入れてきた一方で、フランス語はまわりの国々に大きな影響を与えてきたことを説明してくれます。英和辞典を引けば分かる通り、実に多くの英単語の語源が、ラテン語→フランス語→英語という流れで表示されています。11 世紀の「ノルマン・コンクエスト」は、フランス王の



ストラスブールのプチット・フランス地区

臣であったノルマンディ公がイングランドを征服した事件であり、その後イギリスの文化や法制度の中に当時のフランス語からの影響が残りました。英語や英語圏の文化をより深く理解する上でも、フランス語の学習はその一助となるのです。17 世紀から 19 世紀のヨーロッパにおいても、国境を越えた上流階級や文化人に共通の言語として汎ヨーロッパ的な影響力を及ぼしました。現在、フランスはヨーロッパ連合の発足時からの加盟国のひとつとして、ドイツとともにヨーロッパ統合を主導しています。

《豊かな文化を誇る国・法政大学の語学教育》

現在フランス語は、スイスやベルギー、ルクセンブルクなどのヨーロッパ諸国、カナダのケベック州、ニュウブラウンズウィック州、アフリカ諸国、カリブ海など世界の多くの国や地域で話されており、国際連合の公用語でもあります。オリンピックのアナウンスは、英語より先にフランス語で発せられます。近代オリンピックの父クーベルタン男爵に敬意を表してのことです。また、私たちの日常生活には、パティシエ、クロワッサン、ブティック、アトリエ、グランプリなどのように、フランス語があふれています。さらに、法政大学市ヶ谷キャンパスの近くには、東京日仏学院というフランス政府公式のフランス語学校もあり、フランス語を母語とする人たちも多いたるところです。

フランスの文化も魅力いっぱいです。たとえば映画の発明者リュミエール兄弟はフランス人です。首都パリはファッションの中心地と言われるように、世界中からモード関係者が集まる場所です。また、少子化対策や高齢化社会への対応、環境にやさしい公共交通機関の整備といった分野においても先進的な取り組みがなされており、日本の未来を考えるうえで参考になる多くの事柄がフランスにはあります。またフランス人から見ても、日本の文化は魅力的で、パリ郊外で毎年開催されるポップカルチャーの見本市、ジャパンエキスポには 10 万人を超える人びとが足を運びます。

このように世界へと広がるフランス語圏について学ぶため、法政大学には様々なしくみが整っています。まず、大学全体ではフランスやカナダの大学への「派遣留学制度」があります。つぎに、国際文化学部において、日本国内では数少ない「北米文化論（ケベック講座）」というカナダ・ケベック州政府の寄付講座が開講されているほか、「スタディ・アブロード（SA）」という学部独自の留学制度があります（SA 関連の科目の一部は他学部生も履修できます）。また、ピア・ラーニング・スペース（BT3 階）に、多くのフランス語圏関連の映画・教材があり、学生の皆さんは無料で視聴できます。さらに、留学生と交流できる「フランス語カフェ」も開催しています。

法政大学市ヶ谷キャンパスのフランス語教育に関するより詳しい説明は、下記 URL）を参照してみてください。

<https://www.instagram.com/lecafefrançais.hosei/>

ロシア語という選択



ロシア語話者数は2億8000万人、影響力ある言語ランキング世界第6位であることをご存知ですか？

地理的にも文化的にもヨーロッパとアジアの狭間にあり、それぞれの要素が融合した広大なロシア。ロシア語を母語とする人口は1億8000万。中央アジア諸国ではロシア語が公用語となっており、コーカサス地方、バルト三国、東ヨーロッパ、イスラエル、アメリカ、カナダ、オーストラリアにはロシア語の母語コミュニティがあります。政治・経済的にも世界に多大な影響力を持つロシア。国連の公用語の1つでもあるロシア語を学ぶ外国人は増大傾向にあります。日本にとって実はもっとも近い隣国ロシア。英語の次に何語を学ぶか迷ったら、ロシア語は賢明な選択と言えます。

ロシア語 (русский язык) とは？

ユニークなかたちのキリル文字のアルファベットは全部で33文字。正教布教に際してギリシア文字をベースにブルガリア帝国で確立されました。988年、正教を国教に定めたロシア(当時はルーシ)にもこのキリル文字が伝わったのです。ヨーロッパの諸言語や英語とルーツは同じです。

Россия – священная наша держава! Россия – любимая наша страна!

ロシア語の特徴

文字と発音の対応性が一定なので、発音を覚えてしまえばどんな文字でも読めるようになります。母音の体系が日本語と近いため、日本人にとっては発音の習得し易い言語です。たとえば、парк(パルク:公園)、план(プラン:計画)、брат(ブラト:兄弟)、сестра(シストラ:姉妹)、икра(イクラ:魚卵)、луна(ルナー:月)、карта(カルタ:地図)、кино(キノ:映画館)、метро(ミトロ:地下鉄)。ロシア語は音楽的な響き、韻を踏むような語尾ゆえ、世界でもっとも美しい言語の1つとも言われます。

名詞は「男性・女性・中性」に分類されますが、語尾の文字で判別できます。「語尾が子音であれば男性」、「aで終われば女性」、「oで終われば中性」です。ですから、「公園・計画・兄弟は男性」、「姉妹・魚卵・月・地図は女性」、「映画館・地下鉄は中性」ですね。おまけに冠詞はありません。実は、文法も体系的で法則性が強いので、大学から学び始めても到達度が高いのです。パズルのように読み解く過程も楽しい言語ですよ。

19世紀ロシアの文豪イワン・ツルゲーネフはロシア語について、こう詠んでいます。「おお、偉大にして力強く、真正で自由なるロシア語よ！もしおまえがいなければ、祖国で起きているあらゆることを目にし、どうして絶望に陥らずにいられよう？」

ロシア語を学ぶポイントは？

「聞く、話す、読む、書く」力をバランスよく磨くことですが、何よりも大切なのは、授業にしっかり出席して学ぶこと。そして、学習のモチベーションをあげるために興味ある分野を見つけることです。バレエ、音楽、文学、映画、フィギュアスケート、ロシア人 YouTuber 等々、なんでもよいのです。講師陣は懇切丁寧、親身に皆さんの成長を応援します。法政のピア・ラーニング・スペース(AV ライブラリー)ではロシア映画が楽しめます。週一で開催される「ロシア語カフェ」では、ロシア語で留学生との交流を楽しみましょう(詳しくは、右上 Instagram「ロシア語 in 法政」をチェック!)。モスクワやサンクトペテルブルク、ウズベキスタンのタシケントに10ヶ月学ぶ派遣留学制度もあります。ぜひロシア語にトライして下さい！

社会に出ると学ぶ機会のほとんどないロシア語。大学で学べる機会は貴重です。

中国語について

中国語使用人口はざっと 14 億、つまり世界総人口の約 5 分の 1 に達します。それだけ多くの人が使用する言語が、日本人にとってはじつに学びやすい。文字はおなじみの漢字、文法もけっして難しくない。発音の基本さえマスターすれば、だれでも入門できるのです。

本学では中国語を HSK（中国政府公認の中国語能力試験）の取得と実践的コミュニケーション能力の養成に重点をおいて学びます。だれにでも、いつか中国語を使うチャンスが訪れる——いまはそのような時代だと信じるからです。

入門段階の学び方は次の 3 点に要約できるでしょう。

- (1) ひとつの単語、ひとつの表現を「聞く」「話す」「読む」「書く」「通訳・翻訳する」という五つの面から多角的に学ぶ。
- (2) テキスト本文の内容は日常生活の身近な対話を中心とし、教室でも対話練習に重きを置く。
- (3) 身近な対話練習をしながら、中国語の基本がわかりやすく理解できるよう、文法や表現のポイントをひとつひとつ系統的に積み上げていく。

このような学び方を通して、相手のいうことを少しでも理解し、自分のいいたいことをカタコトでも表現できるようになったら、それが実践的コミュニケーションの始まりです。

入門後のカリキュラムも、コミュニケーションの範囲を無理なく、少しずつ拡大していけるように組み立ててあります。これにしたがって一步一步着実に進んでいけば、中国語はかならずモノにできるでしょう。そのとき、どのような異文化世界がひらけてくるか……。

入学したあかつきには、皆さん、是非、中国語にトライしてみてください。

※履修上の注意

1 年次必修中国語は、初めて中国語を学ぶ人を主な対象にした授業です。

学習内容（基礎・初級レベル）以上の中国語力をすでに身につけている人の受講は推奨しません。

スペイン語について

スペイン語は、スペインをはじめラテンアメリカ諸国を含めると 20 カ国以上の国々で話されている言語です。近年は米国のラティーノ人口の増加も著しく、スペイン語話者は母語話者人口だけでも世界で 5 億人近くに達するといわれます。国連の公用語でもあるスペイン語は、話者人口の多さや話されている地域の広さから、まさに「21 世紀の国際語」といっても過言ではありません。最近ではサッカーやスペイン料理、マヤやアステカ、インカをはじめとする古代文明、サルサ、メレンゲなどのラテンアメリカの音楽やダンスなど、スペイン語圏の文化に対する興味や関心が日本でも日増しに高まりつつあります。

スペイン語は、古代ローマ帝国で公用語に用いられていたラテン語に由来する言語です。ほかにポルトガル語、フランス語、イタリア語、ルーマニア語が同じくラテン語から派生した言語です。これら「姉妹言語」はお互いにとても近い関係にあります。

スペイン語の特徴は、まず発音が容易なこと。名詞を例にとると、「メサ<mesa>」(テーブル)、「レビスタ<revista>」(雑誌)、「カマ<cama>」(ベッド)、「サルサ<salsa>」(ソース)、「ペロタ<pelota>」(ボール)など、かぎりなくローマ字読みに近い単語が数多く存在します。日本語と同じく、「開音節」(母音または二重母音で終わる音節)の単語が多いため、日本人にとっては発音しやすく、親しみやすい言語だといえます。いくつかの基本的なルールさえしっかり押さえておけば、意味はわからなくてもとにかく発音することができるというのは大きな魅力です。スペイン語を勉強するときも、とにかく声に出して発音することが大切です。それを何度も繰り返すことによって、歯切れのよいスペイン語の発音を自然と身につけることができます。

もちろん簡単なことばかりではありません。とくに動詞の活用は、英語にはない複雑な規則がたくさんあります。多くの学習者が最初に直面する関門ですが、とにかく辞書を小まめに引いて慣れるしかありません。「量はかならず質が変わる！」これを信じて、繰り返し練習することが肝要です。

文法もちろん大切ですが、興味や関心をもつことのできるテーマを見つけて、目的意識をもって学習に取り組むことも重要です。関心のあるテーマがひとつでも多く見つければ、魅力的なスペイン語の世界がそれだけ大きくみなさんの前に開かれるはずですよ。ぜひいっしょにスペイン語を勉強しましょう。¡ Vamos a estudiar español juntos !

朝鮮語について（経済学部では「コリア語」として履修します。）

・朝鮮語とは・

朝鮮語は、その名のとおり朝鮮を構成する2つの国、大韓民国（韓国）と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）で共通に用いられる言語です。中国東北地区、中央アジアなどにも朝鮮語を話す人々がいます。世界の朝鮮語人口はおおよそ7千万人強と推定されます。

朝鮮語は、最近では韓国語と呼ばれることも多くなりました。「韓国・朝鮮語」「コリア語」などと称している大学や学部もあります。名称は異なっても指すものは同じです。韓国のことばが「韓国語」で北朝鮮のことばが「朝鮮語」だということでは決してありません。本学で「朝鮮語」の名称を用いているのは、南北朝鮮、朝鮮戦争、朝鮮統一などの名称でわかるように、朝鮮半島全体を包括する名称が日本語では「朝鮮」である（つまり日本語では「韓国」は「朝鮮」の一部ということになります）ことから、日本語の言語習慣にあわせてにすぎず、「韓国語」その他の名称を否定するものではありません（ただし「ハングル」は文字のことなので、言語名称としては感心しません）。

韓国の朝鮮語と北朝鮮の朝鮮語は、ちょうど英米の英語が少しずつ異なるように、いくらかの違いはあります。本学では、実用性を考え、韓国の標準語を学びます。

・朝鮮語の特徴・

朝鮮語は、文法面でも語彙面でも、日本語との類似点がきわめて多い言語です。例えば「弟／が／きのう／コンビニ／で／買って／きた／アイスクリーム／を／私／は／一度／に／食べて／しまった」という長い文も、該当する単語などを1つずつこの順序に置き換えていけば、そのまま朝鮮語になってしまいます。また、朝鮮語は日本語やベトナム語と同じく、漢字に由来することばを大量に取り入れているため、日本語と似た覚えやすい単語がたくさんあります。例えば「会社」が「フェサ」であることを覚えれば「社会」が「サフェ」であることがすぐにわかる、という具合です。

・朝鮮語を学ぶにあたって・

しかし朝鮮語は決して「楽勝科目」ではありません。授業では最初の約1ヶ月でハングルと呼ばれる文字とその発音、そして200以上の単語を叩き込みます。学習の初期においては朝鮮語が第二外国語の中でもっともハードなのです（「朝鮮」をあらわす各国語「独：Korea、仏：Corée、露：Korea、中：韓国、西：Corea、朝：한국」を見ればそれがわかるでしょう）。授業についていくには授業時間だけではとても足りません。その日に学んだことを次の授業までにきちんと復習して覚えておくことが必要です。「朝鮮語は日本語と似ているから学びやすい」というのはこのハードな過程を乗り越えてはじめて言えることです。

また「日本語と似ている」ということが他の外国語と比べて学習負担が小さいことを意味するのでは決してありません。むしろ逆です。「似ている」、つまりある表現を他の外国語より早く習得できる、ということの結果的に同じ学習時間で他の外国語よりも多くの表現を学ぶことになるからです。「ほかの外国語よりラクそうだから」という安易な気持ちで朝鮮語を選択するのは絶対にやめてください。

しかしやる気のある人にとっては、本気で努力して学べば、上の例文（「弟が〜」）に近いことは1年で読み書きできるようになり、慣れれば話すこともできるようになるでしょう。なお学部によって多少の違いはありますが、授業は週2回の授業を2人の担当教員が同じ教材で連携して行ないます（A先生が第2課を終えたらB先生は第3課というように）。ことばをきっかけにして、朝鮮のさまざまな文化や社会にも関心をもってくれることを、教員一同期待しています。

※履修上の注意

私たち朝鮮語教員が望むのは、記号にしか見えなかったハングルを文字として読めるようになり、少しでも口に出して朝鮮語を話すことができるようになるまでの「過程」をみなさんに経験してもらうことです（もちろん一定の「成果」は要求します）。もっといえば「外国語は順を追ってこうやって学べばいいんだ」ということを実感してほしいというのが私たちの願いです。その意味で、大学で学ぶ2年間（一部の学部では1

年間)の学習内容を越える朝鮮語力をすでに備えている人が履修するのは歓迎しません。時間とエネルギーのムダです。この機会にぜひほかの外国語を履修するようにしてください。